



大分建設新聞 フォトコンテスト



結果発表

「土の日の、大分建設新聞フォトコンテスト」へのたくさんのご応募、誠にありがとうございました。メール、Instagram、Xから応募を受け付け、小学生を含みます県内外の幅広い年齢の方々から、力作が寄せられました。改めてお礼申し上げます。

10月28日、大分市の大分建設会館にて、県美術協会写真部顧問の芦刈博美先生を審査委員長に厳正な審査を行いました。審査委員長をはじめ各委員も甲乙つけがたい作品を目の前にし、選考に苦慮した次第であります。

これからも大分建設新聞社を含め、大分県建設業協会と同青年部会、BUILD OITA（おおい建設人材共育ネットワーク）、大分県土木施工管理技士会では建設関連産業の魅力発信のため、さまざまな活動に取り組んでまいります。

- ①撮影場所または施設名
- ②作品についてのコメント
- ③審査委員長の講評



優秀賞

空と大地と僕 宮本 天人(20) / 株式会社 榊末宗組



- ① 駅館川農地整備事業 (宇佐市安心院町芝ノ口)
- ② 大地と空が交わる広大な自然を、新たな土地へと整備していく、そんな現場が大好きです!
- ③ 季節的に雲が浮かんでおり、今から工事が始まるというワクワク感が伝わる。技術者の存在感があり、これから何ができるのかという想像力も掻き立てられる。



大分県建設業協会会長賞



未来の安全へ 秋吉 祐樹(48) / 大分上野丘高校教諭

- ① 大野川河川改修工事現場(宮河内地区)
- ② 土木の力と現場の方々の見えない尽力によって支えられた安全な環境が、私たちの生活を豊かにしていると、改めて感じた現場でした。
- ③ 河川の中に貴重な建機が入って操作する人がいる。土砂降りの中で撮っているのが、いかに建設写真らしい一枚である。



大分県建設業協会 青年部会長賞



男は黙って 背中語る 嶽 かおり(43) 株式会社 榊末宗組

- ① 国道212号日田市大字上野(上野橋)
- ② この写真は日田市にある上野橋の橋脚工事のようです。技術者の長年培った技術や経験を背中で語っているように見えました。働く男の背中がとてまかつよかったです。

③ 力強い作業従事者の後ろ姿が目を引く。スキがないように見える姿は、存在感が感じられる。



佳作



彼岸花と橋梁 岸上 進一(53) 岸上電工

- ① 大野川河川敷
- ② この日は、晴れていましたが、雲が増えたり減ったりの変化が激しく、電車が通るタイミングに空模様が悪くなるのを待って、撮影しました。



トンネルアート 鬼原 浩敏(61) 榊管組

- ① 令和4年度交付地改第2号道路改良工事(日田市中津江)
- ② トンネルが貫通し、保護シートを貼っている状態です。このシートが不思議な幾何学的なアートに見えました。



空中散歩 後藤 佑介(32) 榊友岡組

- ① 橋梁下部現場
- ② 現場をドローンにて空撮した写真です。大野川の中にそびえ立つ姿に迫力を感じました。空を散歩中に、今だけの姿を撮影できたように感じ、このタイトルをつけました。



洪水から守る 山口 和博(70) 一般

- ① 別府市朝見川
- ② 台風の影響で上流から流れて来た堆積物を除去する工事を行っています。近くには小学校もあり、この橋も通学路になっています。



小さなオペレーター!? 前田 未悠(23) 榊南九建設

- ① 佐伯市蒲江大学葛原浦
- ② 子どもが風邪をひいて休んでいた時、現場の休憩中に少し乗せていただきました。



BUILD OITA 会長賞



楽しい土木ごっこ 佐藤 衣代(59) 一般

- ① 大分市富士見が丘
- ② 甥っ子2人は、ショベルカーやブルドーザー、トラックなど、働く車で工事現場ごっこをするのが大好きです。
- ③ 幼い子どもたちが建機のおもちゃで遊んでいるが、遊びを通じて将来は建設業に進んでほしいと思える一枚。写真の構図も無駄がない。



BUILD OITA いいね賞



測量体験! 嵯峨 榮仁(45) 株式会社 榊セキ土工建

- ① 大分県建設技術センター
- ② 真剣な眼差しで測量体験をする中学2年の女子生徒を撮影。お姉さんにしっかり教えてもらって、将来は建設業の仕事に携わってくれることでしょうか。私は、信じています。
- ③ お仕事体験は、今後の進路を決める貴重な体験になったはず。その一瞬を切り取った写真であるが、大変興味を惹かれた。高校生が中学生に教えているのもいい。



特別賞



「人」 becoming 三田井 美織(11) 小学5年生

- ① 大分駅前
- ② 大分駅屋上から景色を見ていて、クレーンが漢字の「人」になっているのが、面白いと思いました。

総評

審査委員長 芦刈 博美 (大分県美術協会写真部顧問)

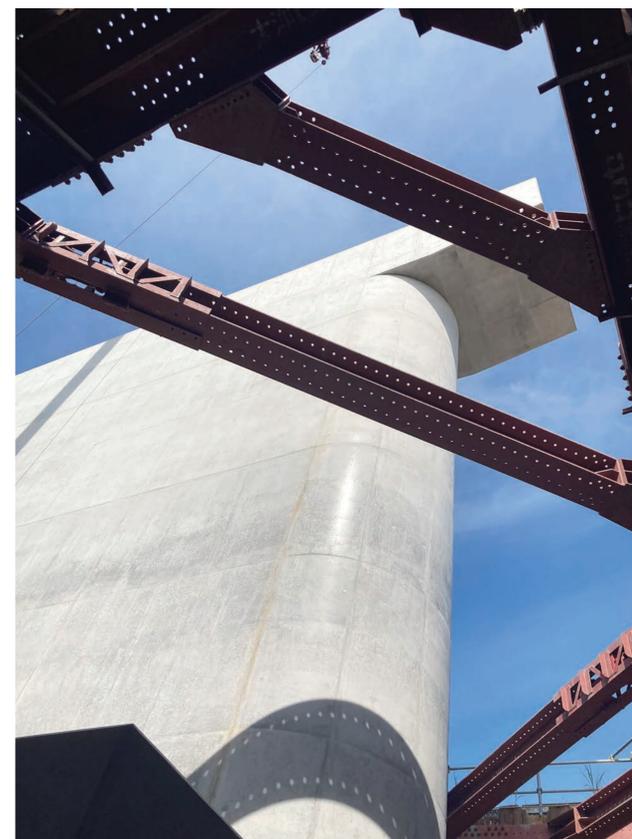
今回も良い作品が集まった。最優秀賞はとて力強い写真である。災害が多いこともあり、各地で復旧現場を目にすることも増えている。ぜひカメラ、スマートフォンを向け、建設業に関わる人の活躍を写してほしい。

- ・応募点数 94点 (メール、X、Instagram)
- ・※10/21朝の時点で確認できた合計数
- ・審査 第1次:10月21日 第2次:10月28日
- ・第2次審査委員 佐藤啓治 (BUILD OITA会長) 浦辺裕二 (県建設業協会事務局長) BUILD OITA事務局 (大分県建設業協会・大分県建設技術センター) 川邊洋子 (大分建設新聞社代表取締役) 以上8人



最優秀賞

青い空 光るピア 佐藤 崇(55) 後藤建設(株)



- ① 津川中島橋下部工現場(大分市皆春)
- ② 完成写真撮影時にピアのR曲線が、あまりに光り輝いていたため、思わず撮影しました。埋戻し前のこの日にしか撮れない貴重な一枚です。
- ③ 梁のボルト穴の影までが橋脚に映っており、建設の息吹を感じられる一枚。とて力強い写真である。